

第 8 回 全国中学生軟式野球大会実施要項

大会名称	第 8 回全国中学生軟式野球大会 兼、第 4 回中学生軟式野球世界大会代表選考会 兼、第 2 回ヨーロッパ中学生軟式野球大会代表選考会 兼、第 7 回パン・パシフィック大会代表選考会
大会目的	中学生軟式野球を通じ、中学生の技術向上と軟式野球普及・振興、及び国際交流の拡大に寄与する為、世界の少年達と友好・親善を図り、国際感覚の養成と視野を拓めて世界平和に貢献することを目的とする。
主 催	(社)少年軟式野球国際交流協会 (IBA-boys)
主 管	(社)少年軟式野球国際交流協会 中学部
後 援	文部科学省、浦安市教育委員会、全日本軟式野球連盟、 世界少年軟式野球連盟(WBF)、ナガセケンコー(株)
会 期	a) 開会式 平成 19 年 3 月 26 日(月) 8:00 ~ 8:30 於：浦安市運動公園野球場 b) 競 技 第 1 日：3 月 26 日(月) 第 1 試合 9:00 ~ 第 2 試合 11:00 ~ 第 3 試合 13:00 ~ 第 4 試合 15:00 ~ 第 2 日：3 月 27 日(火) 準決勝 9:00 ~ 決 勝 11:30 ~ c) 閉会式 平成 19 年 3 月 27 日(火) 14:00 ~ 於：浦安市運動公園野球場 d) 予備日 平成 19 年 3 月 28 日(水)
会 場	浦安市運動公園野球場
参加資格	中学生によって構成されたチームで、本大会の目的・事業に賛同する者に参加を認める。
参加校数	全国各都道府県から推薦された中学生で構成された計 16 チームとする。
チーム構成	監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、選手 16 名以内とする。
競技規則	2007 年公認野球規則及び大会特別規定による。
使用球	全軟連国際大会使用球(ワールド B 号)
帯同審判	大会初日 各チームは審判 2 名帯同のこと
競技方法	a) 全試合トーナメント方式とし、各試合は 7 イニングとし、1 時間 40 分を過ぎて新しいイニングに入らない。 b) コールドゲームは、5 イニング以降で 7 点差以上をもって適用する。 c) 所定のイニング・時間終了時点で同点の場合は大会運営規定の特別ルールを採用し勝敗を決する。 d) 決勝戦は、コールドゲームを適用せず、9 イニング迄の延長を認める。

- 表彰
- a) 優勝チームには賞状、優勝旗、優勝カップ、優勝記念メダル、尚、優勝旗は持ち回りとし、翌年の大会で返還する。
優勝チームには、「第4回中学生軟式野球世界大会」出場枠を授与する。
優勝チームには、「第2回ヨーロッパ中学生軟式野球大会」及び「東欧圏中学生軟式野球大会」の参加資格を授与する。
 - b) 準優勝チームには、賞状、準優勝楯、準優勝記念メダルを授与する。
準優勝チームには「第7回 Pan pacific 中学生中国大会」の参加資格を授与する。
 - c) 第3位チームには賞状、第3位楯を授与する。
第3位チームには「第1回 SLBBA 4ヶ国中学生軟式野球大会」の参加資格を与える。
 - d) 最優秀選手賞1名、優秀選手賞3名に記念メダルを授与する。
 - e) 全国大会参加選手に参加賞を授与する。
 - f) 夏季海外遠征派遣枠(アメリカ)を与える。

2007年3月度全国大会 夏季海外派遣遠征要領

派遣先	募集予定人数	派遣時期予定	費用概算	選考基準
ドイツ (ケルン) チロル (プラハ)	選手16名 役員3名	5月16日(水) ~5月25日(金)	約 29万円	優勝チームは ヨーロッパ中学生軟式野球大会出場枠 東欧圏中学生軟式野球大会出場枠
中国 江蘇省	選手16名 役員2名	8月23日(木) ~30日(木)	約 24万円	準優勝チームは 第7回 Pan pacific 大会出場枠
アメリカ (セントルイス)	選手16名 役員2名	8月3日(金) ~11日(土)	約 29万円	第3位チームは、 第1回SLBBA 4ヶ国 中学生軟式野球大会

費用については、現時点での見積もりです。

ヨーロッパ中学生大会出場参加予定チーム

ドイツ、オランダ、ベルギー、イギリス、イタリア、フランス、スウェーデン
オーストリア、チェコ、クロアチア、ルーマニア、ブルガリア、日本(特別招聘)

以上13ヶ国

その他 地区等での優勝旗が有る場合は、持参し入場行進に使用できます。
ブラカードは大会事務局で用意します。